

No.631

令和4年  
5月号

# 法音

日蓮宗  
法音寺

今月のご法話

昭和天皇の涙

# 勇猛精進

まこと  
至誠

今日一日

奉仕の心がけで働きましょう

今日一日

人を喜ばせるように働きましょう

今日一日

たゆまず続けてゆきましょう

## 月刊・法音 令和4年5月号 No.631 目次

【信仰の指針】<sup>にせ</sup>耳施 人の話を親身になって聞いてあげましょう 1  
【朝のこない夜はない】 2

### 昭和天皇の涙

山首 鈴木正修 2

#### ◆ 講日のご案内

◆ 有縁の支院・布教所にて、ご自由にご参詣ください

◆ 御開山会のお知らせ

◆ 仏教漫画『日蓮さま』・②母との再会

◆ 日蓮聖人出家得度の地・清澄寺

◆ 知つているようで知らなかった!? 法音寺のこと ②9

◆ お寺の本棚

◆ 久遠偈を学ぶ ⑤

◆ のりのね体験

◆ 青少年育成委員会・支院だより

◆ 福祉のひろば

○ 幸せのお手伝い

○ 昭徳会・令和4年度 辞令交付式

○ 日本福祉大学大阪サテライト・

大阪支院において天のなみの体操のおにさんによる健康体操を開催しました

◆ 法音寺は「信仰と福祉のお寺」です

◆ 賛助員ご芳名

◆ 幸せの種まき／編集後記

◆ 連載まんが・ひまわり・112 教え上手

◆ 法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書

表紙写真・クレマチス

掲載写真 表紙・信仰の指針・3～15頁・梅田雅臣氏撮影

2頁・加納将人氏撮影

7372717068 66646338363432282719181615

信仰の指針

に  
せ

耳施

人の話を親身になつて

聞いてあげましょう

日教五



シャクヤク



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

# 昭和天皇の涙

3月16日に東北で、最大震度6強の地震がありました。

東北新幹線が脱線するほどの強い揺れでした。これも2011年3月11日の東日本大震災の余震の内だそうです。あの震災後、さまざまな宗教宗派の方々が慰霊に現地を訪れました。日蓮宗のある布教師の方に聞いたのですが、とにかく話を聞いて欲しいという方が大勢おられたので、傾聴ボランティアを始められたそうです。以前、先代日達上人が無財の七施に「耳施を加えると良いのではないか」と言っておられたのを思い出しました。人の話を親身になって丁寧に聞くということは立派な菩薩行なのです。



以前、こんなことがありました。私の娘が医学部に通っている時に、いろいろな実習がありました。各科を回った後、老々介護のお手伝いをする実習がありました。娘がかがったお家は、おばあさんが寝たきりで、おじいさんが介護をしておられました。「お手伝いにきました」と娘が言うと、おじいさんが「何もなくていいから、わたしの話を聞いてほしい」と言われたそうです。毎回おじいさんがいろいろなお話をされ、娘は相槌を打ちながら聞くだけだったのですが、おじいさんにはとても喜ばれたそうです。

東日本大震災の傾聴ボランティアの方から聞いたお話ですが、「幽霊を見た」という方が多数おられたそうです。あるタクシー運転手さんのお話です。夏なのに冬の格好で乗ってきて、変な人だな格と思っていいたら、「津波で



なが  
流された町に行ってくれ」と言うので、そちらに向かうと、  
とちゅう  
途中でその乗客がいなくなっていたということです。こう  
はなじ  
いう話がたくさんあったそうです。中には「幽霊でもいい  
かぞく  
から家族に会いたい」という方もいらしたそうです。

れい  
霊を慰めるために大勢の宗教家の方々が、現地に行かれ  
おわせい  
ました。何と言っても一番の慰霊は天皇・皇后両陛下  
ばん  
(現上皇・上皇后陛下)が行幸啓されたことだと思えます。  
ぎょうこうけい  
おも

はなじ  
こんなお話があります。太平洋戦争末期、小笠原諸島の  
たいへいようせんそうまつき  
硫黄島は日米両軍による激戦地であったことが知られてい  
げきせんち  
ます。約2万1千人の日本兵が島に行き、生き残ったのは  
やく  
せんじん  
1千人、2万人の兵士がそこで亡くなったのです。さらに  
せんじん  
その2万人のうち、遺骨として故郷に帰ることができたの  
いこつ  
は8千人です。1万2千人の方はいまだにあの島に取り残  
せんじん  
されてい



島には一本の滑走路があります。これは普通の滑走路ではありません。硫黄島の戦闘がまだ続いている時に、アメリカ軍が日本兵の死体を片づけないままアスファルトを流し込んで作ったものです。今も一般人は島に行くことはできません。

入島できるのは海上自衛官と特別に防衛省から許可を得た人だけです。彼らは日常的に幽霊を見るそうです。食事をしていると隣で同じようにご飯を食べている旧日本兵の姿を見たり、会議をしていると同じ場所で会議をしている将校達の姿を見ることがあるそうです。また夜中に軍靴の音が聞こえたり、うめき声が聞こえたりもするそうです。それが平成6年の2月12日に天皇・皇后両陛下が慰霊のために硫黄島を行幸啓されると、この日を境に心霊現象が激減したそうです。



この時、天皇陛下は次のような御製を作られました。

精根を 込め戦ひし 人未だ

地下に眠りて 島は悲しき

これは、司令官・栗林中将の大本営に対する訣別電、  
「国のため 重き務めを 果たし得て 矢弾尽き果て 散  
るぞ悲しき」の「悲しき」を受けた歌だとされています。

最近読んだ『昭和天皇物語』という漫画に関東大震災の  
場面がありました。関東大震災の死者・行方不明者は10万  
5千人余りにのぼりました。東日本大震災は約1万8千人  
です。いかに被害が甚大であったかがわかります。この時  
ご病氣の大正天皇の名代として皇后の節子妃殿下がお一人  
で行啓され、被災された人々を励まされました。人々は非  
常に勇気づけられたということです。



昭和天皇の慰問慰霊のお話をします。

太平洋戦争に負けて日本は焼け野原になりました。昭和20年3月10日の東京大空襲では一晩で11万5千人以上が亡くなり、負傷者は15万人を数えました。また原爆では広島で約14万人、長崎で約7万5千人が亡くなりました。日本国民は絶望のどん底にいました。その日本国民を励ますため、また慰霊のために昭和天皇は全国津々浦々を8年半かけて巡幸されました。陛下の御心の内には国民に対して詫びるお気持ちもおありだったそうです。軍部の暴走だったとはいえ、その責任を感じておられたのです。また一刻も早い復興を願ったのでした。

当時は車中で寝泊まりされることも多々ありました。身辺の警護もままならないような状態でしたが、陛下は「身の危険など構わない。疲れることなども心配せずともよい。



行かなければならないところへはどこへでも行く」とおっしゃったそうです。その巡幸の中のエピソードを一つ紹介したいと思います。

昭和24年、九州の佐賀県にある因通寺というお寺での出来事です。そこには戦争罹災児救護のための「洗心寮」がありました。そこで40人余りの引き揚げ孤児と戦災孤児が肩を寄せ合って暮らしていました。洗心寮には小さく区切られた部屋がいくつもありました。その一つひとつの部屋に陛下は入っていかれ、子ども達にやさしく声をかけられました。ある部屋に3人の女の子が並んで座っていました。真ん中の女の子は二つのお位牌を持っていました。

「お父さまとお母さまのお位牌？」

「はい、父と母の位牌です」

「どこでお亡くなりになったの？」



「父はシベリアで名誉ある戦死をしました。母は引き揚げの時に病気で亡くなりました」

「お寂しい？」

「私は仏さまの子ですから、寂しくありません。父に会いたくなったら、母に会いたくなったら、私は仏壇の前に座ります。そして、そっと、お父さま、お母さまと呼びます。すると父と母は私を優しく抱いてくれます。だから私は寂しくありません」

女の子はそこに来るまでのことを陛下にいろいろと話しました。陛下はその話をずっと「うん、うん」と聞かれました。後、「ああ、仏さまの子はお幸せだね。これからも立派に育っておくれよ」と、右手で女の子の頭をやさしくなでられました。その時、陛下の目からははらと大粒の涙がこぼれ落ちました。その女の子は陛下を見上げて「お父さま」



と言いました。その場にいた人達は皆、もらい泣きしたそうです。陛下は喜怒哀楽をあまり出されない方だったそうです。それは「天皇たる者は、みだりに喜怒哀楽を現してはならない」という帝王教育によるものでした。

大正天皇がご病気の時に陛下が摂政として馬車で皇居に向かわれる途上、ステッキ銃を持った暴漢が襲ってきて、いきなり発砲しました。弾が当たって馬車の窓が割れても、陛下は微動だにされなかったそうです。その後、皇居に着いて何事もなかったかのように、公務に就かれたというお話があります。そのような陛下が涙を流されたのは余程のことです。お帰りの時には「また来るよ。今度はお母さん（皇后陛下）と一緒に来るからね」と涙ながらにおっしゃったということです。後に陛下から一首の歌が因通寺に届けられました。



みほとけの 教へまもりて すくすくと

生ひ育つべき 子らに幸あれ

当時のご住職がこれに感激して、未来永劫この歌が残る  
ようにとこの御製を梵鐘に刻み込みました。今でも因通寺  
ではその梵鐘の音が響き渡っているそうです。

初代神武天皇以来、歴代の天皇は国民を「大御宝」と呼  
ばれ、国民のために祈り、国民一人ひとりを子どものよう  
に考えてこられました。

最後に『日本書紀』に残されている有名な「民のかまど」  
というお話を紹介します。ある時、第16代仁徳天皇が高台  
から民の住む町々を見下ろしながら、「朝ご飯の時間なの  
に、かまどの煙が上がらない。どうしたのか」とおっし  
やいました。当時、国土は荒れ、とても厳しい財政状況に  
ありました。朝ご飯のための薪も焚けないほど民は困窮し



ていたのです。

状況を聞かれた仁徳天皇は、すぐに「三年間の労役や税金をすべて免除する」と詔を出されました。そして、仁徳天皇自らも質素に暮らされ、宮殿の雨も修理も着物の新調もされませんでした。三年が経ち、かまどからのぼる煙を見て安堵された仁徳天皇は次のような御製を詠まれます。

高き屋に 登りて見れば 煙立つ

民のかまどは にぎはひにけり

民のかまどから煙が立ちのぼるのを喜ばれたお歌です。

その秋「我々はもう豊かになりましたので、荒れた宮殿を修理するために税金を納めさせてください」と民が申し上げました。ところが、仁徳天皇は「まだまだ。もう三年免除する。その間に十分な力をつけ、その後存分に国のため



に働いてほしい」とおっしゃいました。そしてその三年後、  
ようやく宮殿の修理が始まりました。

日本は「君民一体」のすばらしい国です。

現在ウクライナでは戦争が続いております。多くの人々が亡くなり、負傷しています。また、多数の難民も出ています。私達日本人は今享受している平和と幸福に感謝するとともに、一刻も早くウクライナに平穏な日常がもどるよう、お題目を唱えながら祈り続けなければいけないと思います。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では  
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき

教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

大阪支院	5月8日(日)	笠松布教所	5月12日(木)
岐阜支院	5月14日(土)	京都支院	5月20日(金)
一宮支院	5月25日(水)		

# 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	1日・14日・28日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田之城之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	8日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・21日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・8日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・14日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・22日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	☎(0595)21-0127

☎連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	1日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	8日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	1日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	14日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	6日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)4210175
岡山支院	1日・6日・24日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)26210818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・15日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	14日・21日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)6215087
安芸津支院	7日・15日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)4514012
坂支院	15日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	1日・15日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)4415445
筑後布教所	8日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)5317273
天草布教所	2日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)5810742
田川支院	8日・15日	田川市春日町7-30	☎(0947)4211819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・28日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)8516860
亀岡布教所	9日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)2517807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

6月5日午後2時より各支院（一部布教所）にて

# 御開山会

YouTubeで  
ライブ配信を行います

▶ 配信内容

- ・ 御報恩法要
- ・ 山首上人さまご法話

※詳しくは各支院・布教所まで

に ち れ ん  
日蓮さま

2 は は さ い かい  
母との再会





はい！  
父上



さあ  
まいるぞ



師となり  
弟子となるのは  
仏縁というもの

これよりはいずれの  
経なりと読むがよい  
書写するのもよい  
また念仏を唱えよ

私の弟子になった  
しるしとして  
そなたに名を進ぜよう



これより  
薬王磨と  
名乗るがよい

どうぜんぼう  
道善房



道善房はます  
身の回りの世話  
給仕・清掃といった  
人間修行：



まだ経蔵には  
案内してなかったな  
ついて来なさい



そして  
読み書きへと進み  
人一倍に力を入れて  
教えたのです



えっ  
ここに  
ある  
書物はすべて  
読んでよいの  
ですか!!



この経蔵の中には  
内外の典書や和漢の  
学書がそろっている



まだ薬王磨は  
勉強してる  
のか…

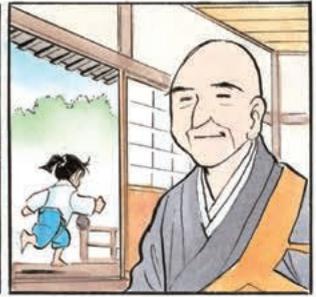








母上ははあし！

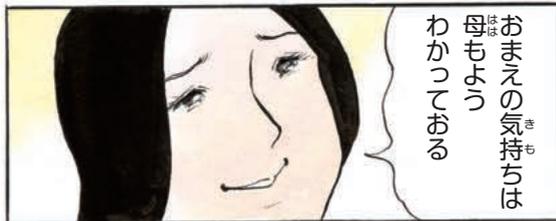


元げん気きでしたか  
変わかりはありませせんか

お前まえの無ぶ事じな  
顔かおを一目ひとめ見みたくて…  
一ひと時ときたりとも  
お前まえを思おもわぬことは  
ありませんでした



葉は王おう磨ま



おままえの気き持もちは  
母ははもうう  
わかっておる



私わたくしとてさがに  
父ちち上うえ・母はは上うえを恋こいしく  
思おもっておりました

母はは上うえ！  
お久ひさしゆうございます

けれども…



私わたくしは今いま出い家けと  
なるために修しゆ行ぎやうをして  
おりました

もし母はは上うえが私わたくしに  
容よう易いに会あえぬことを  
お嘆なげきにならぬなら  
それは私わたくしの修しゆ行ぎやうの  
妨さまたげにならましたら  
どうぞ私わたくしのことを  
ご案あんじびよ召めされますな



三年後



薬王磨はむずかしい  
真言の教書すら  
たちまち解読  
するようになり



道善房をはじめ  
先輩学僧達を  
驚嘆させたのです



十六歳となった  
薬王磨は  
道善房自ら導師となつて  
剃髪の儀式を  
とり行いました

棄恩人無為  
眞実報恩者



嘉禎三年（一二三七）  
十月八日のことです

これにてそなたも  
出家の身となった

心して御仏に仕えよ

今日から名を  
是聖房蓮長と  
あらためるがよい



つづく

## 日蓮聖人出家得度の地・清澄寺

清澄寺は日蓮聖人が出家・得度、立教改宗された寺として知られ、久遠寺、池上本門寺、小湊誕生寺とともに日蓮宗四霊場と呼ばれています。

清澄寺の縁起によれば771年に旅の僧・不思議法師が訪れて虚空蔵菩薩を祀り開山したのが始まりとのこと。その後、836年に慈覚大師円仁により再興され、1233年に善日磨（後の日蓮聖人）が入山した当時は天台宗の寺院でした。

清澄山は女人禁制でしたので、母親の梅菊が愛する我が子に会いたくても直接訪ねることができませんでした。二人は女人堂と呼ばれる場所で再会しましたが、薬王磨は「生まれ故郷が恋しくなり勉強に励めなくなるので会いに来ないでほしい」と伝えます。梅菊は泣く泣くその言葉に従ったということです。わが子に会えない悲しさから梅菊は傍らにあった石に腰を掛け、涙を流し、その涙の跡が石の表面に残っているという言い伝えがあります。

※写真は清澄寺Webサイトより



薬王磨が梅菊と面会した女人堂跡



清澄寺本堂

知っているようで知らなかった!?

## 法音寺のこと ②9

### 自立援助ホーム

児童養護施設を退所した後の子ども達の将来について、修学（御開山上人）はその就職先に苦慮し、信徒に頭を下げて回った時代がありました。宗音（日達上人）にとってもこの問題は大きな課題でした。

さまざまな事情から家族・家庭に恵まれず、施設で中学校卒業時まで過ごした子ども達にとって、社会の壁は相当厚いものでした。多くは住み込みで就職していきませんが、何らかの事情で退職となれば、もう行くところがありません。もし、普通の中環境の中にあつたら、まだ高等学校に通っている年代です。施設を出ていくまで世話をしてきた人

々にとって、これほど苦しく、辛い思いをすることはありません。ところが、そのようなケースが増える一方でした。その上、そういう子ども達がいるという現状すら、世の中の多くの人には知られていません。そこに日夜子ども達と接する施設職員の苦悩があります。無理解・偏見の渦巻く中、その心中は計り知れないものがあります。

自立援助ホーム「慈泉寮」は平成3年1月、当時、日本福祉大学の学生寮であった建物を改築し、男子のみを対象として開設されました。

翌年には女子の受け入れも開始し、定員を男女10名としました。義務教育終了、または高等学校中退により就職のため養護施設を退所した子ども達の中、援助の必要な子を入



自立援助ホーム 慈泉寮

所させ、職員（児童指導員のホーム長と保育）が起居をともにして相談援助を行うことにより、社会的自立の促進を図ることを目的とした施設です。

入所者には、それぞれ個室（洋室6畳）が用意されました。生活費として、子ども達は働いて得た給料の中から月額3万5千円を寮費として負担。朝食・夕食が提供され、入浴は毎日。洗濯などの設備も完備しています。表面的には企業の独身寮と似てはいますが、内実は少々趣が異なります。内容としては次の三点が主な支援となります。

- 一、自立に失敗した児童、自立の見通しの立たない児童などに対し、生活の場の提供と、再出発に向けて相談援助を行い、社会的自立が得



きるよう努める。

二、職場などの開拓を行い、幅広い分野に理解を求め、児童の職域を広げるとともに、その児童に適した職場の選択をさせ、就労自立を図る。

三、関係機関との連携を図り、児童にとっての最善の選択に努める。

毎日の生活・仕事が充実するように、そして社会に順応できる人間形成を行わなければなりません。子ども達は基本的な生活習慣を身につけ、金銭の管理などができるようにすることも必要です。さらに、社会に出てさまざまな人達と常識的な交流も求められます。

子ども達との関わりは、寮にいる時だけではありません。就職先やアパート入居についても子ども達には保証人が必要です。何らかの事情で問題が起これば、昼夜を問わず連絡が入ります。子ども達の将来のために誰かが務めなければならないことなのです。

## 参考文献



『大乗山法音寺三徳  
開教百年史(4)』



# 胎教の子 お寺の本棚



『御開山上人御遺稿集』

「胎教の子」というのは、「本願を有して生まれた子」ということであります。

お釈迦さまのご説明になっておられますところを見ますと、

「両親に孝養厚く、六親に礼深く、外には五常を乱さず、内には三宝を敬い供養するなり。上求菩提の功徳を重ねて、父母もろともに無上の位に至るべき因位を有す」とあります。

本願を有して生まれたということは、法華経法師品に「衆生をあわれむが故に悪世に生まれ、如来の事を行ずるなり」とあるように、世の中のためになる働きをすべくこの世に生を受けた子である、というのであります。また、この子等は現世はもちろんのこと、後々の世まで両親の幸福を願って世に働く子であると言われています。

「六親に礼深く」というのは、親子・兄弟・姉妹・祖父母・従兄弟などの六親に情誼が厚いということでもあります。

「五常を乱さず」というのは、仁・義・礼・智・信の五つを守ることです。



仁とは、あわれみの深いこと。義は、物事が道に適うように情と義理の厚いことです。礼とは、人に対して行うべき礼儀作法が正しいこと。智は、智慧才能が優れて賢いこと。信は、真実心、即ち至誠の心が厚いことであります。

「三宝（仏・法・僧）を敬い供養する」ということは、仏さまの教えを尊び、その教えを弘め、三宝のご恩に報いる働きをすることです。

「上求菩提の功徳を重ねる」というのは、仏さまの具えておられる智慧を磨き、世の中の人々に善い感化を与える働きをすることです。

「無上の位に至る」というのは、自らは世の人々を善導して救う働きをして、父親も母親も仏の地位を得させる働きをすることです。

「因位を有す」というのは、胎教を受けられる良い子は、前の世からそういう善い因縁を持って生まれた子であるということです。

このような理由を持って生まれた子でありますから、前の世からの善い因縁が働いて、家内中ばかりでなく、世の中の縁ある人々を幸福にする良い子なのであります。その子のお父さんお母さん達は、その善い働き、善い因縁が充分働くように教え導き、かわいがって育ててください。お願いいたします。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

# 久遠くおん偈げを学まなぶ⑤

「悟りの種はすぐ身近に」

我常に衆生の 道を行じ道を行ぜざるを知って

度すべき所に随って 為に種種の法を説く

「法を説く」とは、お経そのものを説くというのではなく、「度すべき所に随って」とありますように、仏さまはいろいろな人に、いろいろな形で、その人の目の前に「悟りの種をまいておきます」と言われていたのであります。

確かにその通りだと思えます。ポヤーツ

とした心では、何を見ても少しも感じないかもしれませんが、広い心と言いまし  
ようか、本当に信仰の心を持った人には、  
目の前に起こることがどんなことでも、  
りがたい」という心になるのではないかと  
思うのです。また仏さまに教えていただき  
いた。ご守護ただけでありがたい」とい



う心になるものです。逆にそういう心を持たない人には、せっかくのことが何でもないこととして通りすぎて行ってしまいます。

この世の中のこと、悟りにしようと思えば悟りの種は尽きることがないと言っても過言ではありません。仏さまはあらゆる場面に、いろいろ姿を変え、形を変えて真実を現し、私どもを教化してくださっているのです。

顕修院日達上人『大白牛車（九）』

# 育成合同会議

3月6日、育成合同会議がリモートで行われました。

島田知教委員長より「自粛に慣れてしまいがちな昨今ですが、一人ひとりが慈悲の心で、子ども会・青年会へと導く活動に尽力してください」とご挨拶をいただきました。

## プログラム①

『青年会に特化した会員増加計画』

- ・各地区のセールスポイント（良い所）
- ・セールスポイントを活かすには
- ・ウィークポイント（弱い所）の要因について

それぞれのリーダーが現状と今後の目標を発表し、各地区の活動の中

での良い所・弱い所を挙げ、さらに良くしていく方法を発表する貴重な時間となりました。

発表後、総括した服部委員は「10年後、杉山先生百遠忌、御開山上人七十遠忌を迎えます。私達がどう実行できるのか？先師の方々にほめていただけるよう一緒に実践していきましょう」と締めくくられました。

## プログラム②

『御開山上人の研究〜今後の展開』

前原順徳上人より「研究とむずかしく思わずに、マンガや著書を読んで親しんでいただきたい。行いに取り入れて、伝えていくことも研究です」とのお話がありました。

最後に島田知教委員長より「時代

は早く流れ、変化していきますが、変えてはいけなのが信仰であり、

# 青少年育成委員会



徳を積む心です」と閉会のご挨拶がありました。

リモート会議という新しい試みで  
全山が一つになり、三徳のみ教えの

実行に決意を新たにした会議となりました。  
(通信員 松村純美)

## 青少年育成道場

### 青少年育成委員会

4月3日(日)、第50回青少年育成道場が本山大本堂にて開催されました。

勤行後、島田知教委員長より「三年ぶり、50回目の記念の開催です。

これは長い歴史の中で、全国各支院の先輩方一人ひとりが三徳の実行を継承してくださったお陰です。世界中、さまざまに苦労されている人が大勢います。その方々にも思いを寄せ、今日一日、道場修行をしてください。そして、道場で学んだことを胸に会社や学校、それぞれの環境に戻られて、明るい笑顔を心掛け、三徳の継承に努めてください」とご挨拶をいただきました。また、歴代の

委員長からもお祝いのメッセージ動画が届きました。

続いて、大野多美さん(上野支院)、沖元孝之さん(大阪支院)、河野泰樹さん(岐阜支院)、松村由佳さん(名古屋地区)から体験発表がありました。

○大野多美さん

「私は、前向きな心を持つことが苦手です。

どうしたらよいかと悩んでいた時に、山首上人さまのご話やお寺の施本で心の建て直し方を教えていただきました。それは周りの人が喜ぶことを行うということです。実行す

ることで前向きな心を持つことができました。これからも、周りの人に喜んでいただけるような行いを続け、徳を積む人生を送りたいと思います」

○沖元孝之さん

「20代の頃、お寺へ足が向かない時期もありましたが、家族からお寺の話をとくさんしてもらいました。それをきっかけに心が前向きになり、悩みから救われた経験がたくさんあります。法音寺にご縁のある人生を本当にありがたいと感じることができました。多くの会員がお寺に足を運べる環境作りを、青年会会長として頑張っていきたいです」



○河野泰樹さん

「母からの勧めで、自動車の運転前には必ずお題目をお唱えすることを実行しています。初めは面倒に感じ、唱え忘れることもありました。しかし、両親が立て続けに事故に遭い、大難を小難で済ませていただいたことを知り、お題目のありがたさを実感しました。事故の因縁を作らないよう、日常の三徳実行をお誓いいたします」

○松村由佳さん

「国家試験の結果が思うようにならず、気持ちが落ち込む時がありました。それでも毎日、お写経とお消滅供養をさせていただくと、今まで家族に感謝できていなかった自分に気づくことができ反省しました。」

お徳をいただき、どんな結果でも喜んでお受けしよう。自分のでき

ることで周りのためになる働きをしよう」と心の底から思うことができました」

同世代の若者達は時にうなずき、感心し、4名の体験談に聞き入っていました。

午前の部の最後に山首上人さまのご法話を拝聴しました。

「杉山先生は、慈悲・至誠・堪忍の三徳を実行して幸せになることを説かれました。中でも留意すべきは『怒り』です。それまでどれだけ良いことを重ねていても、一度の怒りでそのすべてをなくしてしまいます。相手を許すことで、自分自身も救われます。感謝の心がある人、慈悲の心がある人は怒りません。不平・不満・愚痴を思う心を戒めて、平素から堪忍を守ることが大切です」

ご法話終了後に山首上人さま、鈴

木廣修上人と参加者全員で、記念の  
写真撮影をしました。

お昼をはさみ、午後の部で鈴木廣  
修上人のご法話を拝聴しました。

「お釈迦さまの説かれた悟りの世界  
に入るにも、三徳の実行とお題目を  
唱えることが大切です。意見の合わ  
ない人と出会うこともあると思いま  
す。合わない人には、まずこちらが  
相手に合わせて寄り添い、信頼関係  
を築き、そして最後には自分の意見  
を聞いてもらう『柔伏（にゅうぶく）』  
という方法があります。どなたでも  
行うことができる堪忍の修行です」

### 【参加された方の声】

○「堪忍Ⅱ我慢」ではなく、「許す」  
ということを知り、捉え方が変わ  
りました。

○堪忍が何よりも大切であることを  
知りました。

○怒る前に一度深呼吸し、心を穏や  
かにすることを学びました。

○まず、怒りにつながる愚痴を言わ  
ないように心掛けたいです。

○今日のお話が、自分の行いを見つ  
め直すきっかけとなりました。

○同年代の方だからこそ、状況や悩  
みに共感できました。

○自分の家族や周りの人に感謝の気  
持ちを持つこと。その大切さを痛感  
しました。

○運転前にお題目を唱える大切さを  
知りました。

○本堂でお写経させていただき、あ  
りがたいと思いました。

○来年も必ず育成道場に参加します。

参加者は一日お世話になった道場  
をみんなで感謝を込めて掃除し、す  
がすがしい気持ちで帰宅の途に就か  
れました。

（通信員 松村純美）



ひろば

福祉の



# 幸せのお手伝い

子どもの成長が

喜びとやりがいにく

## Sちゃんの優しさ

### 助けられた日々

私が忘れることができないのは、中学1年生のSちゃんです。Sちゃんとの出会いは、私が入職の際、2歳のSちゃんが入所してきた頃にさかのぼります。当時の私は、幼児部に配属され、Sちゃんはいつも代わる代わる抱っこをされ、いつでもどんな時でも指吸いをしているお子さんでした。そんなSちゃんの担当になったのは、年中のときでした。眠たくなったり、疲れてきたりすると気が荒くなり、大きな声で泣いて叫んだり、時に

は20分くらいトイレで指を吸って動かないこともありました。

また、とてもマイペースで、幼稚園ではマイペースすぎて問題視されるようなお子さんでした。幼児部での約4年間、Sちゃんと過ごした日々は毎日楽しいと言いつても多々ありましたが、私にとってはとてもやりがいのある毎日でした。指を吸ってばかりいたSちゃんが、幼稚園での最後の生活発表会では立派に発表している姿を見て、感極まってしまったことを今でも思い出します。そして、Sちゃんが小学生に上がる際にユニットが別となり、生活空間は離れることとなりました。

た。

私が休憩時間や退勤後等に女子部ユニットを訪れSちゃんに会いに行くと、離れることを嫌がることも多々ありました。

Sちゃんが小学4年生のときに私が女子部ユニットに異動となり、再度Sちゃんと過ごすことができるようになりました。

この時の女子部ユニットは、子ども達が落ち着かず、職員等は苦しい日々を過ごしていました。しかし、問題が起こる度に「大丈夫?」などと声を掛けてくれたSちゃんの優しさや可愛さにふれることで、私達は助けられることが多々ありました。

今でも、Sちゃんの優しさや人とのコミュニケーション能力などにふれ、心の成長を感じるたびに、約10年間駒方寮で働いていて良かったと感じ

ることが出来ます。

今後も、Sちゃんをはじめとする子ども達との関係性を築き、子どもの成長にふれることを、自身の喜びややりがいにつなげ、社会人、福祉人として成長していきたいと思えます。

児童養護施設 駒方寮 グループリーダー(児童指導員)

網 郁子



# 令和4年度 辞令交付式



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会

～節目となる110期生 昭徳会の歴史を紡ぎます～

満開の桜に祝福されながら、4月1日（金）、法音寺本堂にて「令和4年度 昇任職員・新規採用職員 辞令交付式」が執り行われました。

今年度の昇任職員は16人、新入職員は31人。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、3密を回避し、ソーシャルディスタンス（人との距離を保つこと）に配慮した会場にて開催されました。

開式にあたり、鈴木理事長（法音寺山首上人）より、新入職員へ歓迎の辞が述べられました。

「わが法人では、単に人手を求めているのではなく、今後、この法人を大いに発展させ、より一層、社会全体の福祉に貢献できるよう全力を尽くしてくださいと、さる熱意にあふれた人材を求めています。昭徳会の基本理念は『幸福』です。昔、ギリシアの哲学者アリストテレスは言いました。『我々の求めるものの内、その最高のものは何か？その答えはすべての人に共通している。それは幸福である』と。現在、ウクライナでは、戦闘で多くの方が亡くなり、負傷しておられます。日本において、改めて、平和のありがたさ、幸福を感じておられる方も多いと思います。その日本の中でも幸福を享受できていない人が多数おられます。そういう人達に慈愛の手を差し伸べるのが皆さんのこれからの仕事です。

おそらく職務の途上では、いろいろな困難に遭遇されることもあるでしょう。しかし、それらを乗り越えてこそ福祉人としての成長、発展があります。積極的に取り組んでくださることを心から願っております。何事も意欲をもって当たれば、自ずと知恵も湧き、道も開けてくるものです。また、そうした歩みの一つひとつが、人生の貴重な経験となっていくと思います。どうか、そうした心構えを持って力強く前進してくださることを願っております。また、何と言いましても心身ともに健康が第一です。身体はもちろん心の健康にも充分気をつけていただきますよう、お願いいたします」

その後、理事長より一人ひとりに辞令が手渡されました。昇任した職員は、喜びを感じながらも、責任の重さを改めて実感する機会となりました。そして、新入職員は昭徳会の職員となることへの誇りをかみしめ、気持ちを新たにしている様子でした。

続いて、新入職員を代表して伊藤大智さん（日本福祉大 学卒・高浜安立荘配属）より、誓いの言葉が述べられました。

「理事長さまより温かい励ましのお言葉をいただき、新入職員一同感慨深く思いますと同時に身が引き締まる思いで

おります。昭徳会は、鈴木修学初代理事長の『困っている人を助ける』という福祉活動の教えを長年実践され、福祉と真摯に向き合い、今年度110周年を迎える法人であるとうかがいました。このようならずばらしい法人に、節目となる110期生として昭徳会の一員となれることに喜びと責任を感じております。事前の研修では、『福祉人としての心構え』や『成長することの大切さ』を丁寧に教えていただきました。学んだことを実践し、『周囲に喜ばれる存在』となれるように努めてまいります。まだまだ未熟な私達ではございますが、この決意をいつまでも忘れることなく、諸先輩方のご指導を仰ぎながら何事にも積極的に取り組み、向上心をもって邁進していくことをここに誓います」と力強い言葉で締めました。

今日決意した気持ちを忘れず、昭徳会で活躍していただくことを期待しています。

法人本部事務局 事務員 古田 優佳



# 大阪支院において「大人のための体操のおいさん」による健康体操を開催しました

～日本福祉大学大阪サテライト～



写真提供・日本福祉大学

2022年3月27日（日）、法音寺大阪支院で檀信徒の皆さんや昭徳会ケアハウス大阪安立の入居者さんを対象とした「健康体操」を開催しました。講師を務めたのは、2013年に日本福祉大学福祉経営学部（通信教育）を卒業された、株式会社GOBOU代表取締役の築瀬寛（やなせひろし）氏です。築瀬氏（以下、ごぼう先生）は「介護予防を笑顔で伝える。大人のための体操のおいさん」として、これまで3万人を超えるシニアの方々に健康体操の実演をされてきました。

今回の企画は、法音寺大阪支院や昭徳会ケアハウス大阪安立の皆さんとの交流を深める場をつくりたいという想いから、本学の関係者が担う形で実現しました。新型コロナウイルス感染症拡大の状況



により、実施が2回程延期になりましたが、大阪支院の皆さまのご尽力により、当日は54名の方々にお越しいただき、無事開催することができました。



ごぼう先生のお話では、たとえ病気や介護が必要になっても、笑顔で身体も心も「健康的」に日々を送ることが重要とのこと。そのためには「テクテク(運動)」「モグモグ(食事)」「ワクワク(趣味)」「コツコツ(継続)」「ドキドキ(期待)」の5つのキーワードが必要であると教えてくださいました。その後、先生にならって皆さんは手足を動かし、音楽と踊りを交えた体操に挑戦しました。皆さんからは「普段体を動かすことが少ない今、少しでも動きを入れていただき良かったと思います。お話の内容もしっかりされていて、感心しました」「心から笑い、

体と頭、両方を動かせる時間をいただけたことに感謝します」「思った通りに体を動かせない自分に笑いました。いつも笑いを求める生活ですが、自分自身を笑えるのは、最高の笑いだと思います」といった感想をいただき、終始笑顔の絶えないあつという間の一時間となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により未だ制約の多い日々ではありますが、今回の「健康」をテーマにした内容以外にも今後さまざまな取り組みを企画し、多くの皆さまにご参加いただけるような「楽しい学びと交流の場」を検討していきたいと思います。



# 法音寺は「**信仰**と**福祉**のお寺」です



困っている人達の助けになることで、  
法音寺には“**功德**”が積み重ねられています

(功德とは、「幸せを引きよせる種」です)

その功德が信仰を通して  
皆さんに授けられるのです



## **法音寺**による社会貢献

社会福祉法人昭徳会の運営を基に  
現在1,500名を越える人達の  
お世話をさせていただいています



**福祉**の様々な分野を支え、  
利用者さんの幸福を実現します



### 児童福祉施設

親と暮らせない約170名の子どもの  
生活を支えています

### 保育園

毎日370名余りの園児達の  
成長を見守っています

### 障がい児・障がい者施設

300名を越える人々に  
日々希望を与えています

### 高齢者施設

600名ほどのお年寄りに  
寄り添っています



学校法人日本福祉大学を通じて  
児童養護施設出身者の就学金に  
皆さんの浄財が使われています





## 幸せの種まき

人を喜ばせることは

仏の子としての働きです

善い行いをできること自体が

ありがたいのであり、

功德をあてにした取引ではいけません

大乗山 法音寺



## 編集後記

今月号の「朝のこない夜はない」では、慰問先である佐賀県の施設で昭和天皇が位牌を持つ少女と言葉を交わされる場面が描かれています。それを読むと、昭和天皇の優しさに胸が打たれます。

戦後、昭徳会の施設でも同じようなエピソードがありました。

小遣いを儉約しながら必死にお金を貯めた少女が「お父さんとお母さんを買ってくる」と言って外に飛び出していきました。保育士が心配していると、夕方に二つの位牌を胸に抱えて帰ってきました。その話を聞いた御開山上人は、その子をそっと抱き寄せたそうです。戦後はそのような話が全国にあったのでしょうか。

「困った人はみんないらっしゃい」と手を広げられた始祖・杉山辰子先生から始まった法音寺の信仰。法音寺にかかわる人々は、どんな時代も、困っている人、苦しんでいる人、悩んでいる人、寂しさを感じている人達に寄り添い、生きる希望を与えてきました。

その法音寺に縁のある私達です。日々、親切を心掛けていきたいと思います。

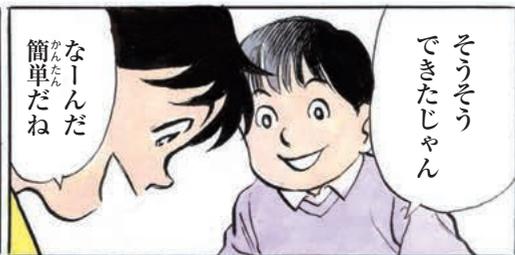
# おし じょう ず 教 え 上 手

竹中 淳











あーいや  
なんでもない

蓮くん  
どうかした？



トン ゲツ  
クルリだ

逆上がりなんて  
簡単だよ  
なんでできない  
んだよ

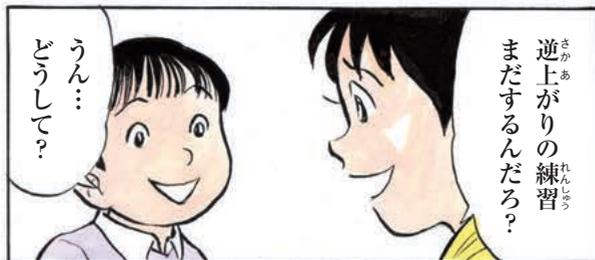
こんな  
簡単な問題  
筆算しといた  
からあとは  
わかるだろ

ボクのこと  
やってること  
矢部くんの  
乱暴な教え方と  
かわらないか  
じゃないか



野呂くん  
ありがとうね

よかった  
役に立てて



うん…  
どうして？

逆上がりの練習  
まだするんだろ？



ん？

野呂くん



ごめん  
野呂くんと  
約束してるんだ



一緒に  
帰ろうか



翌日

キョー  
キョー  
キョー



日曜日  
にちようび



翌朝  
よくあさ



今日は  
野呂くん  
お休みです

鉄棒を  
やっていて  
ケガしたって  
連絡が  
ありました

皆さんも  
気をつけて  
ください



えっ



平気だよ  
ちょっとクジいた  
だけだから

明日は学校  
行けるから





おしまい

# 法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…  
人々を本当の幸せにする仏教の精神で  
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、  
差別を受けたハンセン病を患った人々に  
寄り添い、様々な事情で親をなくした  
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に  
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。  
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を  
運営する中で、本当に人々を救済するには  
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、  
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・  
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を  
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に  
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。  
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、  
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、  
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





# 勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる  
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂  
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

## 日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135  
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日  
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

### SNSでつながる法音寺

法音寺公式  
**facebook**で

毎朝7時

『一日一言』  
配信中!!

こちらの  
QRコードから  
ご覧いただけます。



毎週火曜日  
**法音寺メールマガジン**  
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、  
人にやさしく生きていくための  
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから  
メールマガジン登録フォームを  
ご覧いただけます。



**YouTube**にて  
**法音寺チャンネル**  
開設中!!

[https://www.youtube.com/  
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから  
法音寺紹介動画を  
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

### 法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

#### 社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10  
TEL (052) 831-5171  
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

#### 学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295  
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6  
TEL (0569) 87-2211  
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和4年5月号・No.631・令和4年5月1日発行  
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会  
非売品／印刷・(株)一誠社